

令和4年度（2022年度）第1回
箕面市立図書館協議会会議録

箕面市立図書館

- 1 日 時 令和4年(2022年)12月21日(水)
開会 午後2時 閉会 午後3時30分
- 2 場 所 箕面市立西南図書館 2階 視聴覚室
- 3 出席委員 渡邊 智山 会長
日根 真理 副会長
五十嵐 直人 委員
野本 淳子 委員
本川 麻佑子 委員
小山 清香 委員
- 4 傍聴者の有無 なし
- 5 出席職員 大迫 美恵子 中央図書館長
小松 紀子 小野原図書館長
廣瀬 武 桜ヶ丘図書館長
赤澤 久弥 船場図書館長
宮本 尚也 中央図書館参事
神下 達也 中央図書館職員
- 6 議事日程
- 日程第1 (案件第1号)
令和4年度実施事業について
→令和4年度に実施した事業について各館館長より説明。
意見交換
- 日程第2 (案件第2号)
令和3年度事業概要について
→令和3年度箕面市立図書館の事業概要について
令和4年度(2022年度)版箕面市図書館概要に沿って説明。
- 日程第3
その他

【会議次第】

日程第1（案件第1号）

令和4年度実施事業について

事務局より各館ごとに令和4年度に実施した事業について説明。

- 会 長： 中央図書館からは豊能町図書館との連携、電子書籍の扱い、作家によるトークショーの開催、箕面・世界子どもの本アカデミー賞への取組、新潮 CD、DVD の利用について説明があった。桜ヶ丘図書館では毎週水曜日におはなし会の実施、11月に実施した子どもと本のまつりに100名以上の参加があり高評価であったと説明があった。西南図書館からは大阪大学学生による科学教室の実施、新たな取り組みとして梅花女子大学と連携し世界のボードゲームのイベントに取り組んだ説明があった。小野原図書館からはよちよち絵本タイムの実施など従来の状況に戻りつつあると説明があった。船場図書館からは大阪大学が指定管理者であることから、各国の絵本文化の紹介、学園祭イベントとの連携、図書活用プログラムについて説明があった。指定管理者の評価については後に回し、各図書館からの報告について各委員より、忌憚のない意見をいただきたい。何か意見感想等あるか。
- 副会長： 箕面・世界子どもの本アカデミー賞について、3年ぶりの開催であるが第10回で終了と聞いていた。来年度以降の実施予定はあるのか。今回の来場者について400人来場と言うことであったが、所感としてはそれほどの参加者がいなかった。登壇者も含めてなのか。来場者の算出方法について伺いたい。
- 事務局： 箕面・世界子どもの本アカデミー賞の参加者について、例年は会場入り口で手渡しするプログラムの配布数で算出していたが、今回は参加者着席状況により算出した。登壇の児童・生徒を含む。
- また、箕面・世界子どもの本アカデミー賞について、第10回は箕面・世界子どもの本アカデミー大賞として、それまでにノミネートされた本からベストオブベストを決める賞として開催した。終了は予定しておらず、来年度以降についても開催したいと考えている。
- 副会長： 箕面・世界子どもの本アカデミー賞について、以前は実行委員会形式であったが、今回は図書館が主催であった。実施主体は変わったのか。
- 事務局： 実行委員会形式で実施していたが、市の事業として実施することとした。実施内容としては大きく変わってはいない。
- 委 員： コロナ禍でストップしていた事業が再開できて良かったと思う。授賞式にも参加したが、子どもたちも多く参加している様子でよかった。

本にあまり親しめていない子どもにとって図書館に足を運ぶ機会は少ないと思うので、このようなイベントがきっかけで図書館への利用へとつながる。各館の実施していることも今後広がっていくことを期待している。

電子書籍の利用状況について聞きたい。

事務局： 令和3年度電子図書館利用状況については後ほど説明させていただく。電子雑誌について、利用状況を詳細につかめてはいないが、利用時間によっては利用制限人数を超えて利用できないことがあると聞いているが、利用は導入当初は多かったが、その後の利用はあまり伸びていないため、これからよりPRが必要であると認識している。

会長： 時間帯によって同時アクセス数を変更できるなど、使いたいときに使えない状況がないようにすることが今後の検討課題である。

事務局： 同規模自治体の利用状況を鑑みた契約内容となっている。今後利用状況に合わせて契約内容を見直していく。

会長： 今後の動向を見ながら対応をお願いする。

委員： 電子図書館は空き時間に本をとって読むことができるのでよい。

電子図書館を利用できるということを知らなかったのも、市民への周知のため告知方法についても検討する必要がある。

図書館での特色あるイベントを小学校からのお知らせで知ることが多かった。子どもが幼稚園に通っている間は、イベントについて知る機会がなく、周知方法についても検討が必要である。

会長： 広報について、新たな取り組みはあるか。

事務局： 箕面市の公式 Twitter から図書館の各種イベント情報について発信している。

委員： Twitter だけか。

事務局： もみじだより、図書館ホームページ、箕面市 FM ホームページ等からも発信している。

会長： 保護者からすると、学校経由の情報発信の方が効果的か。

委員： 学校ではトモリンクスでもって情報発信をしているため、小学生が対象のイベントについてはトモリンクスでの情報発信だと目にする機会が増える。

副会長： トモリンクスでもすべての情報を発信しているわけではないと伺っている。

委員： 学校の立場としてもすべての情報を発信できるわけではないので、基準として、箕面市や教育委員会が実施している事業、大阪府が実施している事業、大阪府や箕面市が後援しているもの等依頼があったものは発信している。

広報の方法については、電子媒体、紙媒体どちらにも必要がある。

会長： 今後継続して検討が必要である。

委員： 豊能町立図書館を主に利用しており、利用条件がよくなって良かった。

イベントが多数開催されていることを知らなかったため、イベント周知をよ

り求める。

委員： 子どもたちの学習の補助および居場所として協力していただいていることはありがたい。

学校でもコロナの状況を見ながらに徐々にイベントを復活させている。しかし、イベント後にコロナに感染していたことが発覚することがあり、学校では追跡可能であるが図書館等でのより対象を把握しにくい場所での対応を参考にしたい。

事務局： 当初は「大阪コロナ追跡システム」の利用を推奨していた。

桜ヶ丘図書館での子どもと本のまつりの際には、想定範囲の利用となるよう定員を設け、事前申込制にした。申し込みが多く急遽2回開催としたため、会場は比較的余裕を持って実施が可能となった。

コロナの感染については申告がないと把握ができないため追跡事例がない。開催場所が密とならないようにする必要があるため、従来は土日開催であったおはなし会はまだ再開できてはいない。

委員： イベントの実施については指針はあるか？

事務局： 図書館運営については日本図書館協会のガイドラインに基づいているが、イベント実施方法についての詳細なガイドラインはない。府のガイドラインや市の方針に基づきその都度考えている。

会長： 委員の皆様から多様なイベントの取り組む方向性について好評であった。

西南図書館で実施しているイベントについて、科学教室は博物館、自然科学館等での開催が一般的である中でどのような経緯で開催されたのか。

事務局： 大阪大学から企画の提案を受け、西南図書館の利用の活性化のため実施した。また西南図書館は従来から大阪大学とのつながりがありそれをより深める機会ともなった。

会長： 大阪大学から突然企画の提案があったのか。

事務局： 大阪大学から箕面市に企画の提案があり、西南図書館での開催となった。

大阪大学としても子どもたちが理系分野に興味を持てるような機会を作りたいとのことであった。

会長： 図書館から企画の発案があるとより良かった。

事務局： 以前に西南図書館で人と本を紡ぐ会と共催の事業として科学教室を開催していた。今回は大学生が主体となる企画であり、従来の科学教室とは異なる良さがあったと考える。

会長： 船場図書館での企画について、英語圏の言語の企画を実施する予定はあるか。

事務局： 専攻として英語もあるが、現時点で実施の予定はない。これから検討していく。

会長： 船場図書館の利用者アンケートについて何かあるか。

副会長： アンケートの実施期間、及び実施方法についてはどうか。

- 事務局： 通年での実施であり、図書館入口にアンケート用紙を設置している。重点実施期間として1ヶ月の間、アンケート用紙を手渡しすることも加えて実施した。合議のメンバーについては船場図書館利用者から選定している。箕面船場まちづくり協議会、おはなし会を実施する団体、図書館利用者から3名である。
- 会 長： アンケートの項目について、イベントに対しての評価項目がない。
船場図書館のイベントの取組について問われると、今後のサービスの向上につながるので検討いただきたい。
- 事務局： 個別のイベントの終了時には別途アンケートを実施している。

日程第2（案件第2号）

令和3年度事業概要について

事務局より令和4年度箕面市立図書館概要に沿って令和3年度の事業概要について説明。

- 会 長： この件については次回の協議会でご意見頂戴したい。

日程第3（案件第3号）

その他

- 事務局： 次回の箕面市立図書館協議会は2月の開催を検討している。
- 会 長： その他なければ終了とする。